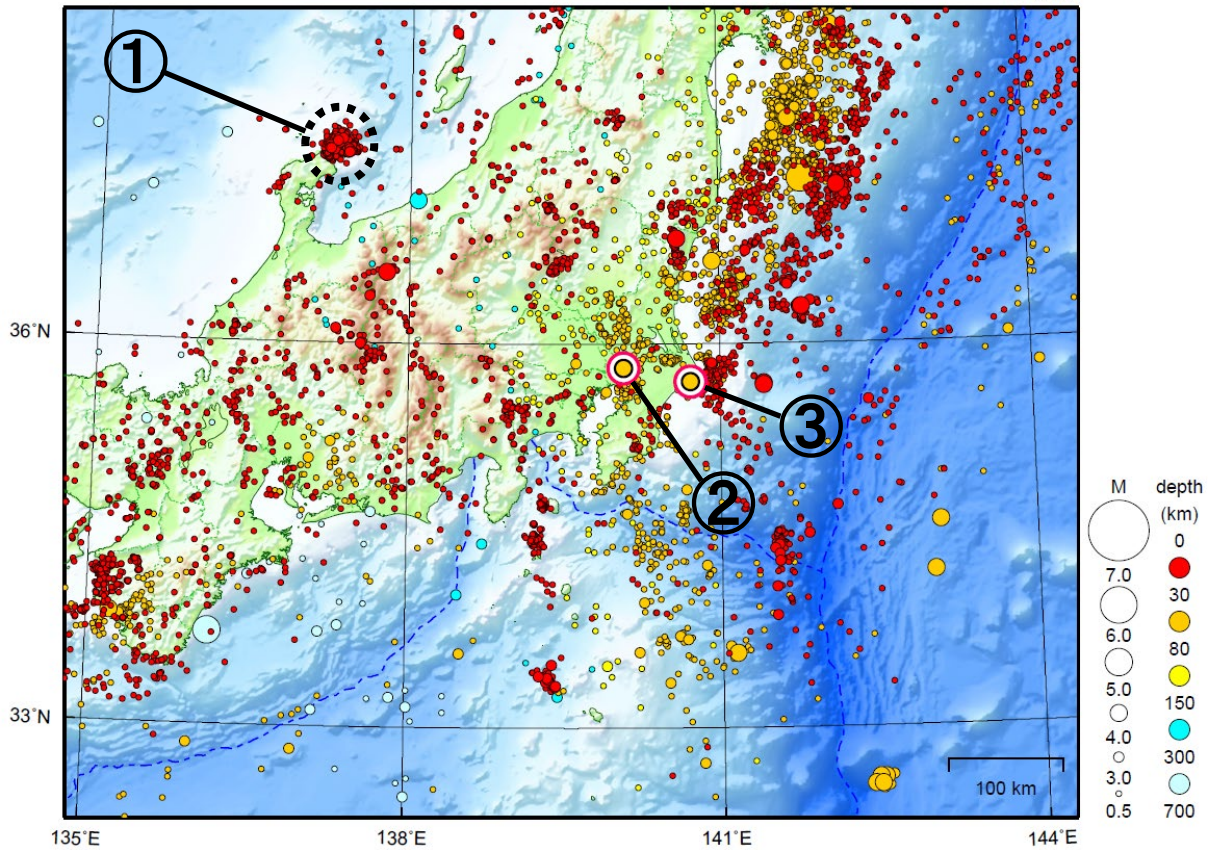


関東・中部地方

2023/06/01 00:00 ~ 2023/06/30 24:00

N=9357



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 石川県能登地方では、6月中に震度1以上を観測した地震が16回（震度3：1回、震度2：7回、震度1：8回）発生した。このうち最大規模の地震は、9日に発生したM3.8の地震（最大震度3）である。

9日の地震の震央地名は[能登半島沖]である。

- ② 6月4日に千葉県北西部でM4.6の地震（最大震度3）が発生した。
③ 6月16日に千葉県北東部でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

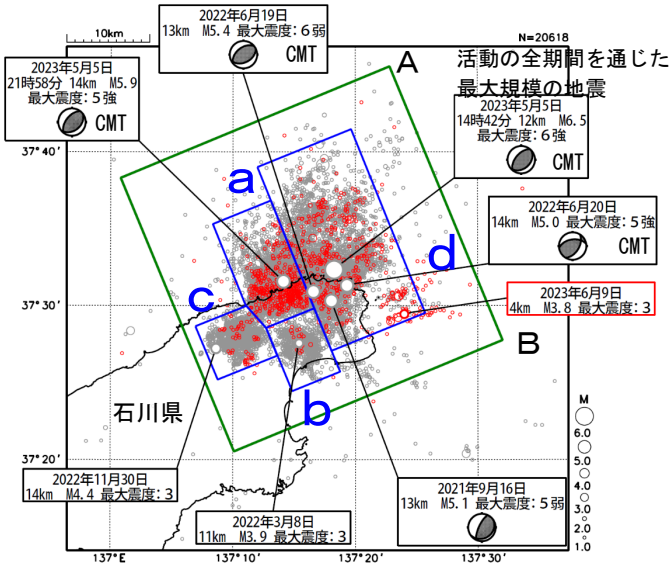
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

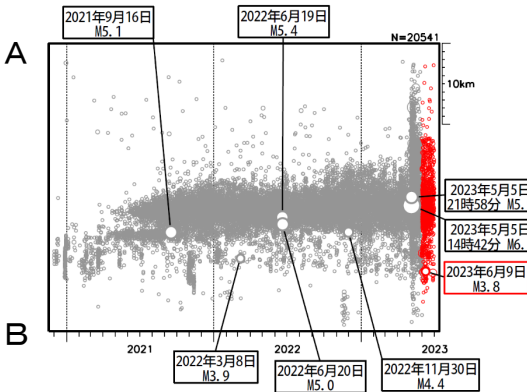
(2020年12月1日～2023年6月30日、
深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)

2023年6月の地震を赤色で表示

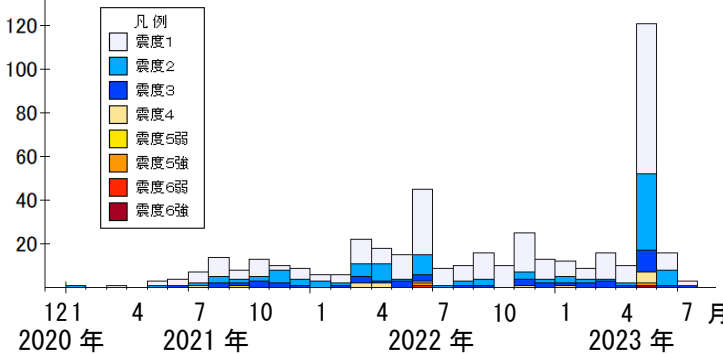
- ・ 黒色の吹き出し：領域 a～d の各領域内で最大規模の地震及び最大震度5弱以上の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年6月中の最大規模の地震



上図緑色矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



上図緑色矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年7月10日08時)



期間別・震度別の地震発生回数表

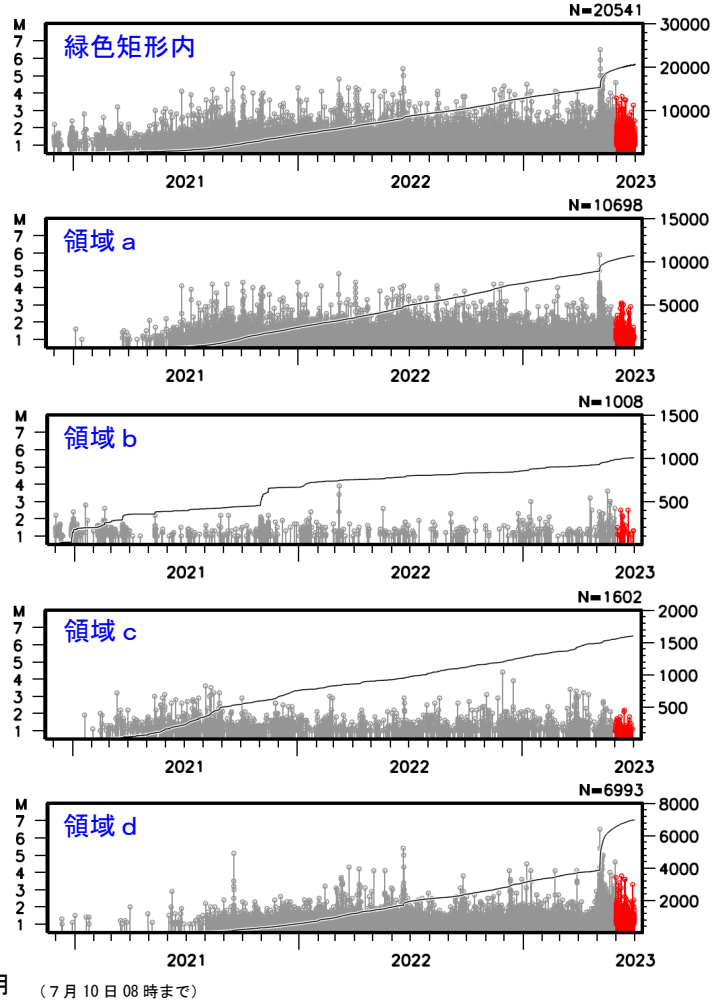
| 期間 | 最大震度別回数 | | | | | | | | 計 |
|---------------------------|---------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | |
| 2020年12月1日 ～2023年5月31日 | 270 | 100 | 45 | 13 | 1 | 2 | 1 | 1 | 433 |
| 2023年6月1日～30日 | 8 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| 2023年7月1日～10日08時 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 計 | 280 | 107 | 47 | 13 | 1 | 2 | 1 | 1 | 452 |

石川県能登地方(震央分布図の緑色矩形内)では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年6月中も活発な状態が継続している。2023年6月中の最大規模の地震は、9日に能登半島沖で発生したM3.8の地震(最大震度3)である。

2023年5月5日にM6.5の地震(最大震度6強)が発生した後、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少している。

緑色矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図緑色矩形内及び領域 a～d 内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年6月30日)

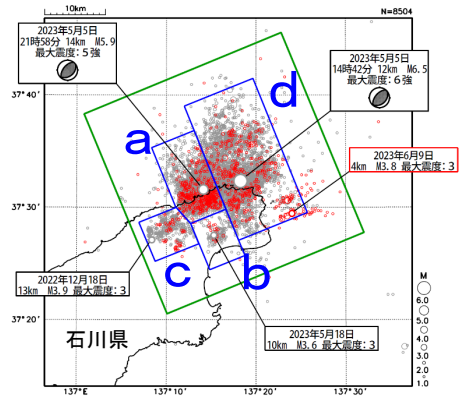


石川県能登地方の地震活動（最近の活動）

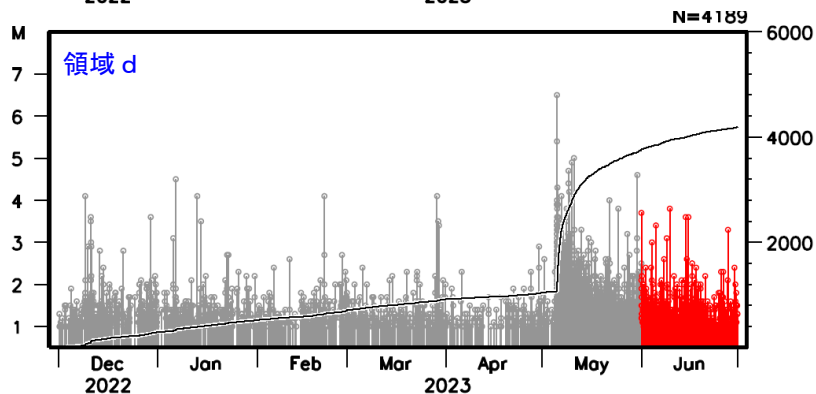
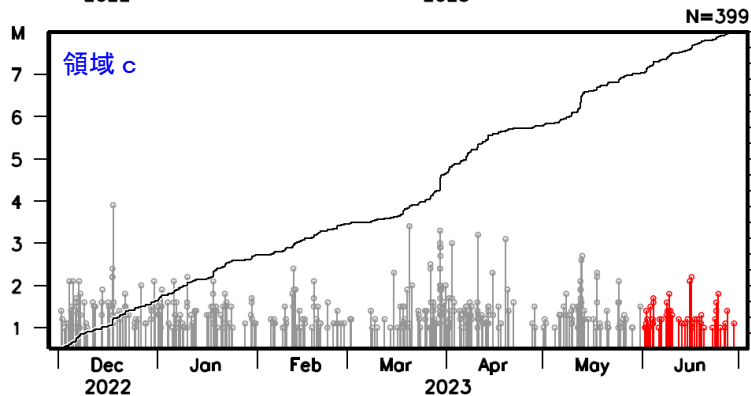
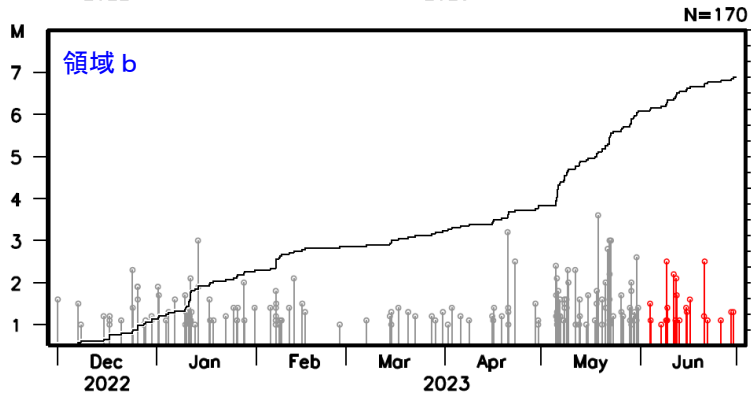
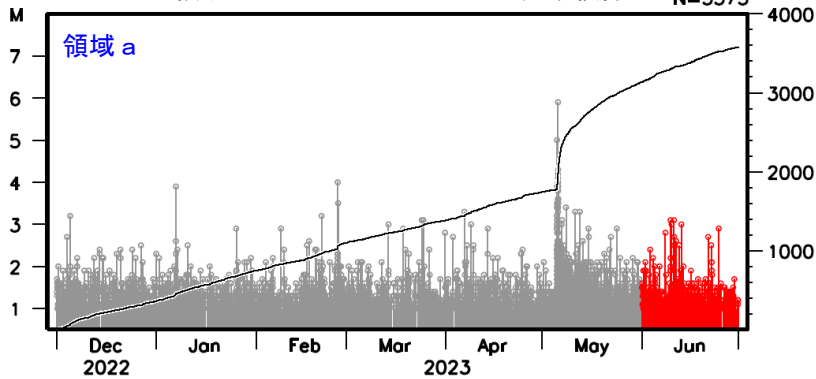
震央分布図
 (2022年12月1日～2023年6月30日、
 深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)

2023年6月の地震を赤色で表示

- ・ 黒色の吹き出し：領域 a～d の各領域内で最大規模の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年6月中の最大規模の地震、
 図中の発震機構は CMT 解

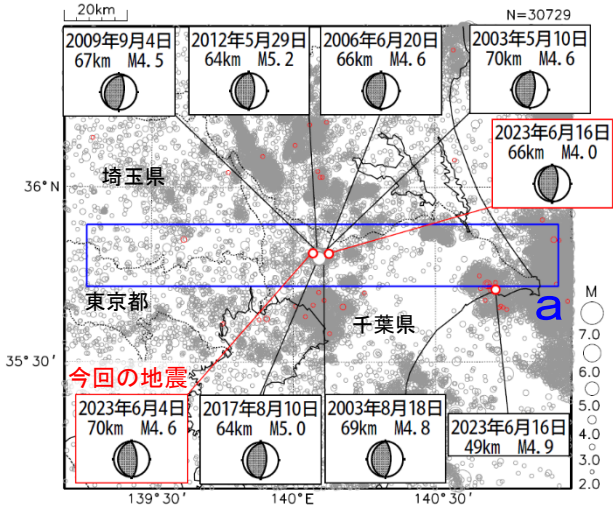


上図領域 a～d 内の M-T 図及び回数積算図 N=3575



6月4日 千葉県北西部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年6月30日、
深さ0～150km、M≥2.0)
2023年6月の地震を赤色で表示

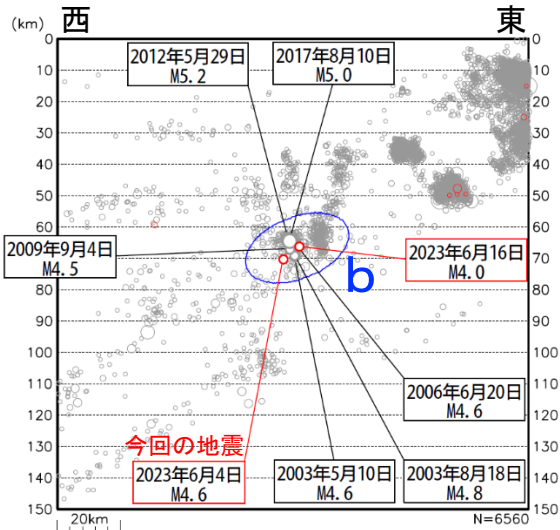


2023年6月4日10時58分に千葉県北西部の深さ70kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

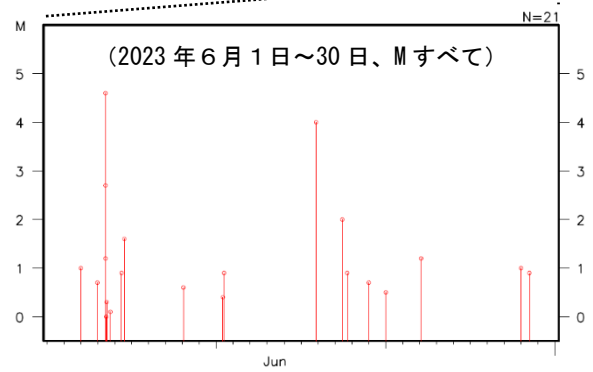
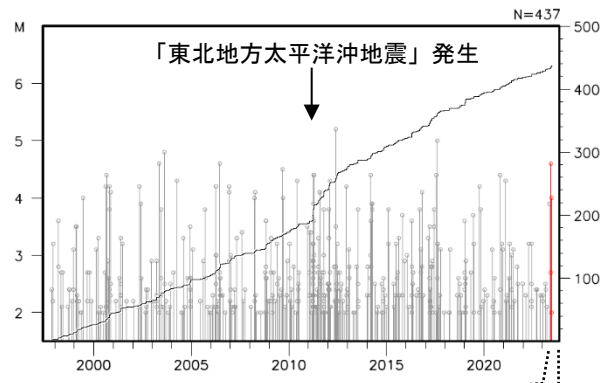
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M4.0以上の地震がしばしば発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、地震活動が一時的に活発になった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1956年9月30日に発生したM6.3の地震(最大震度4)では、負傷者4人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

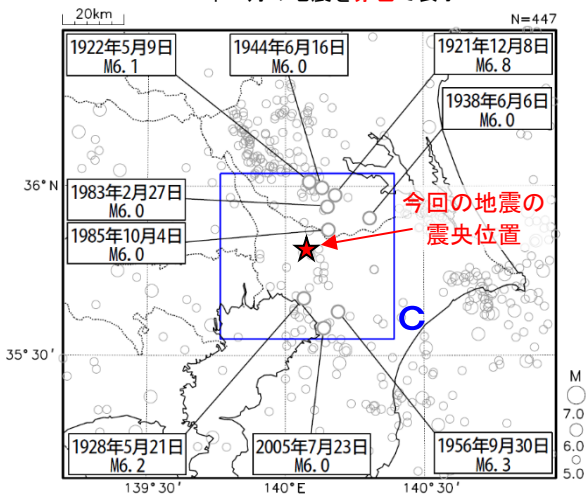
領域a内の断面図(東西投影)



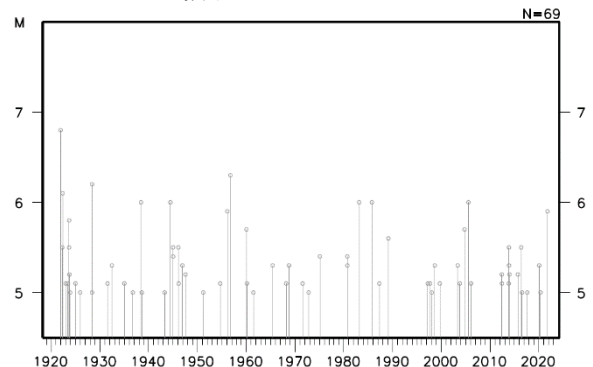
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年6月30日、
深さ0～150km、M≥5.0)
2023年6月の地震を赤色で表示

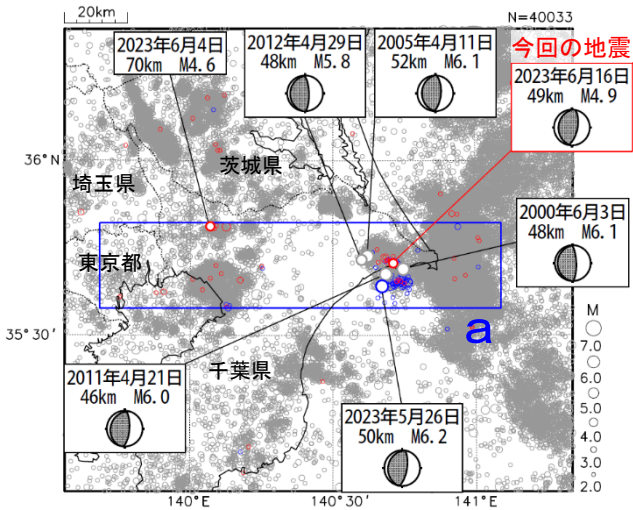


領域c内のM-T図



6月16日 千葉県北東部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2023年5月26日以降の地震を青色、
2023年6月の地震を赤色で表示



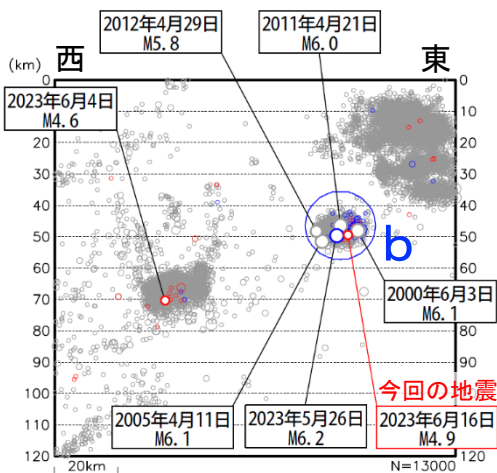
2023年6月16日 21時24分に千葉県北東部の深さ49kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

今回の地震の震源付近(領域b)では、2023年5月26日にM6.2の地震(最大震度5弱)が発生した後、今回の地震を含めて、5月26日から6月30日までに震度1以上を観測した地震が12回(震度5弱:1回、震度4:1回、震度2:5回、震度1:5回)発生した。

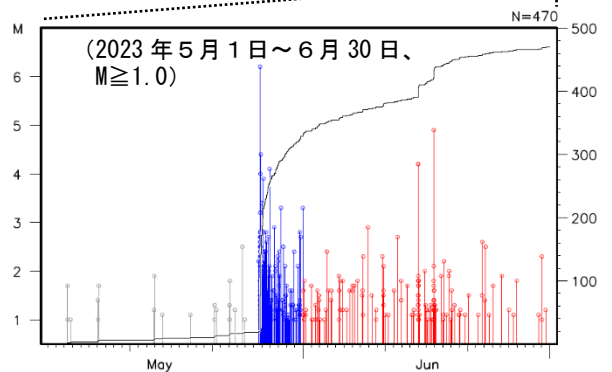
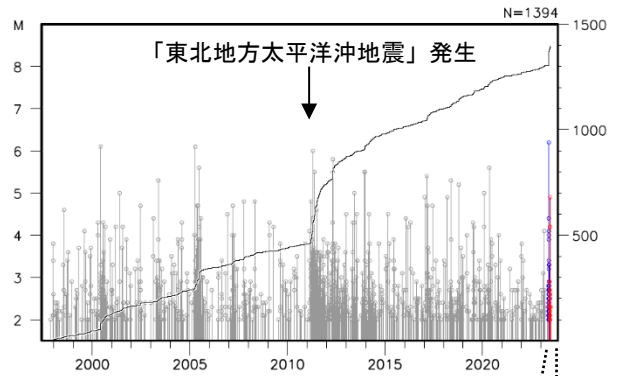
1997年10月以降の活動をみると、領域bでは、M5.0以上の地震が時々発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、地震活動が活発になった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震(最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

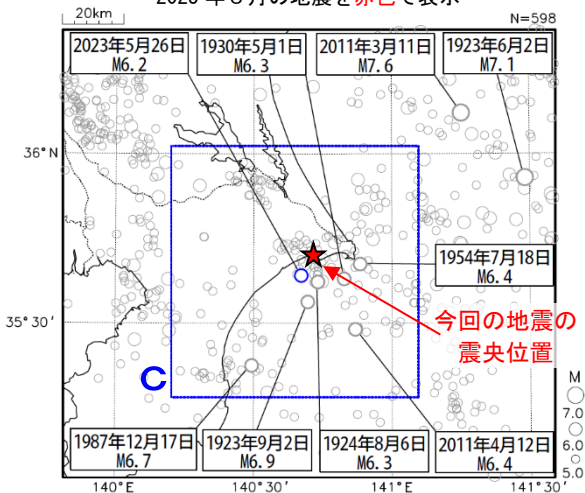
領域a内の断面図(東西投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2023年5月26日以降の地震を青色、
2023年6月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

